



ブルーノ・タウトが設計した旧日向別邸の地下室部分＝春日町で

# 旧日向別邸の歴史、価値紹介

## 26日から月例講演会

# 保存会、来年3月まで計9回

## 中井会長をメイン講師に

熱海市春日町の旧日向別邸（ブルーノ・タウト熱海の家）の維持・保存に取り組み市民有志らでつくる「旧日向別邸保存会」（中井正勝会長）は二十六日から、九回シリーズで月例講演会を開催する。中井会長がメイン講師を務め、旧日向別邸の歴史、価値、見どころ、課題などを紹介する。

旧日向別邸は実業家日向利兵衛氏（故人）の別荘の離れとして昭和十一

（一九三〇年）に建てられた。その地下室がドイツ生まれの建築家ブルーノ・タウトによって設計された。日本に現存する唯一のタウト設計の建築物で、国の重要文化財に指定されている。建物は平成十六（二〇〇四）年に熱海市の所有となり翌年秋から一般公開されている。

保存会は、建物の文化的価値を広く発信しつつその長期保存のための基

金作りを行うことなどを目的に、本年度発足した。月例講演会はその活動の一端。来年三月までの毎週第四日曜日に、起雲閣やいきいきプラザなどを会場に開催する。

開催時間は各回とも午後一時から三時。受講は無料だが、資料代として毎回二百円が必要。問い合わせは保存会事務局の矢崎さん（電0550（3608）7749）へ。

講座の開催日と内容は次の通り。

▽七月二十六日▽旧日向別邸取得のミステリー（重要文化財への提言）

▽八月二十三日▽古建築の見方・楽しみ方（旧日向別邸の文化財価値）

▽九月二十七日▽ブルーノ・タウトと日向利兵衛との出会い▽十月二十五日▽日向利兵衛熱海別邸（ブルーノ・タウトに与えられた空間・発

想、日向利兵衛の希望）

▽十一月二十二日▽着工（ブルーノ・タウトの決断、建設会社への反発）▽十二月二十七日▽タウトの部屋玄関（アーチ型、真竹の格子、白竹のスクリーン、半円階段）▽一月二十四日▽社交室、洋間、和室、諸室の見どころ（垣根風手すり、隠し戸棚、裸電球、アールデコ調、折りたたみ戸など）▽二月二十八日▽ブルーノ・タウトの奇跡（ジードルンクが世界遺産に。ブルーノ・タウトの自宅）▽三月二十八日▽旧日向別邸保存会の課題



熱海新聞  
熱海市上宿町11-4  
〒413-0018  
電話 0557 (81) 0648  
電話 0557 (81) 2134  
FAX 0557 (83) 3553  
伊豆新聞本社  
伊東市鎌田1290-6  
〒414-0054  
電話0557 (36) 1234  
ホームページ  
<http://www.izu-np.co.jp>